

ヨーロッパ水準の高度な治療設備

インプラント治療に関して、最も大切なことの1つになりますが、**手術中の安全確認ができる設備を有する医院**で治療を行えばさまざまな危険のリスクを下げることができます。

安心なインプラント治療のための安全確認！

東京審美会では当たり前のことですが、実は、多くの他院では手術中の安全確認を行うことができません！

驚かれるかもしれませんが…

多くの医院では、被曝量の少ない高性能なデジタル・エックス線診断装置も使用できるのはレントゲン室の中だけで、実際の手術途中で、確認をするためにデジタル・エックス線装置を使用することができないのです。

なぜなら、多くの医院の手術室、治療室が放射線防護の特殊な構造を有しておらず、手術室または治療室内部が必要な時に使用できるような設備を有していないからです。医療法でも、エックス線防護を備えていない部屋でのエックス線の使用を認めておらず、当然、保健所でも通常の診療室でのエックス線撮影を認めていません。

その結果、

多くの医院でのインプラント手術ではインプラントを埋入する孔を形成している際に、ドリルの先端部分がどの位置にあるのか、神経までの距離がどのくらいなのかを他の歯根に対して埋入する方向がどうなっているのかを、実は、把握することはできません。

もし、神経までの距離が残りどのくらいなのかを必要なタイミングで正確に把握することができれば、**神経損傷などの危険性はほとんどなくなる**はずです。

また、**よりよい埋入方向**についても、治療途中であれば、修正を加えることもできるでしょう。



〈放射線を防護する診療室のガラス窓〉

東京審美会は、**手術中に**インプラントと神経までの距離がどのくらいであるか、インプラントの先端部と上顎洞までの距離がどのくらいであるのか、インプラントと隣在歯の歯根との方向や距離はどうなっているのかを**いつでも必要に応じて、把握することができる**特別なデジタル・エックス線装置と、それを**手術室にて運用するための特別な設備と運用の認可**をいただいています。



〈ヨーロッパ基準のドイツ・シロナ社のインプラント治療室用
デジタル・エックス線システム〉

インプラント治療中に、方向と深さを確認できます。

このようなヨーロッパ基準の診療施設は、東京・墨田保健所管内では初めての施設であり、このような施設の必要性を説明しに保健所を訪れました。

保健所から3人もの担当官が構造を確認しに来院し、院長が治療上の説明を行いました。
手術室内・治療室内で利用できるデジタル・エックス線装備は、
東京審美会の安全な治療には必須の設備であるだけでなく、
骨内でのインプラントの埋入方向にまでこだわる美しいインプラント治療を生み出し、
インプラント治療で他の追従を許さない高いクオリティを生み出しています。